

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 2020年夏季重点要求書の回答等について
交渉日時 令和2年6月17日(水) 15時00分～17時00分
交渉場所 水道庁舎3階会議室
交渉出席者 当局側 宇野副市長 脇坂市長公室長 西川人事課長 岡野人事課副課長
足立同課人事研修係長
組合側 東執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計10人

概要	要
組合の主張	<p>2020年夏季重点要求書の回答等を行った。</p> <p>① 住居手当、扶養手当、前歴是正等の諸課題については市長選挙がある中で決着時期を含めて、例年よりも早い段階から議論が必要である。今年度の賃金確定交渉のスケジュールはどう考えているのか。</p> <p>② 宇治市として、ラスパイレス指数について、絶対的な指標でないとしつつ指数を重視しているが、地方が高い指数が出るものに縛られては改善できない。</p> <p>③ 災害対応については、動員等による職員の協力による部分が大きく、職員のモチベーションに関わることであるので、もっと柔軟な運用が必要ではないか。</p>
当局の主張	<p>① 現時点では、人事院勧告の時期や内容が不透明であるが、仮に12月期の期末手当等の改定を伴う見直しであれば、11月中旬の妥結をいただく必要があると考えており、それに見合ったスケジュールで議論を開始する必要があると考えている。</p> <p>② ラスパイレス指数は、給与水準を示す絶対的な指標だとは考えていないが、他市との比較という点では無視できるものではなく、指数そのものだけでなく、順位についても注視する必要があると考えている。</p> <p>③ 公費を使う以上、一定の線引きは必要である。昨年度の交渉経過等も踏まえて改めて整理したい。</p>